

## 市立学校の5月7日以降の対応について

## 市立学校を対象とする臨時休業期間を5月31日（日）まで延長する 小学校での特別受け入れ、バンビーホームでの特別保育についてもその期間内で延長して実施する

○4月16日に全国に緊急事態宣言が拡大されたことを受け、4月23日には奈良県内にも一部の業種に対して休業要請が出されている。また、県内でも流行の兆しがあり、自粛要請が強く呼びかけられている。現在の状況から、児童生徒の感染を防ぐことを第一に考え、市立学校の臨時休業期間を延長するとともに小学校・バンビーホームでの特別受け入れ、特別保育についてもその対応を延長する。  
(5月7日の一斉登校日は設定しない。)

## 臨時休業期間中の方針

児童生徒が規則正しい生活習慣を身に付けるとともに、学校再開後を見据えた学習に取り組むことができるよう、様々な手段を用いて可能な限りの措置を講じる。

## ①学習指導・学校が課す家庭学習の充実

- ・家庭学習の時間割や、各時間に取り組む学習活動を示した学習計画を作成・提示する
- ・学校再開後の授業とのつながりを意識し、評価を見据えた家庭学習となるよう、年間の指導計画に基づいた課題を作成・提示する
- ・学校再開後、臨時休業期間中の取組に関する小テストや1学期をとおしてのテストなどを実施し、評価を行う

## ②児童生徒の心のケア

- ・教員が、電話等を通じて定期的に児童生徒の心身の健康状態を把握する
- ・児童生徒の状態に応じて、スクールカウンセラーや奈良市教育センター教育相談窓口等による対応を行う

## 【学校再開後（6月1日以降）の方針】

➤ 感染拡大防止の対策を第一とした上で、段階的に教育活動を再開する。その後、可能な限り授業日数を確保し、児童生徒の学習機会を保障することとする。

- ① 再開後の教育活動  
▽「3密」を避け、段階的に教育活動を開始
- ② 中期的なビジョン設定  
▽学習保障に向けて

夏休み・冬休みを短縮して授業時数を確保  
(学校行事も精選)

6月以降の方針については5月22日をめどに決定

## 教育委員の意見

- ・5月7日以降の対応を現時点で検討し方向性を出すことについて賛成である。
- ・休業延長期間中は、学校を再開した時に、子供たちができる限り支障なく学校生活に戻れるように規則正しい家庭での過ごし方を指導する必要がある。
- ・6月1日以降の学校再開に向け、様々なシミュレーションを検討する必要がある。

## 校長の意見

- ・保護者の不安や、感染のリスクが高い現状では学校再開は厳しいと考える。児童生徒の安全・安心が優先と考える。
- ・児童生徒の学力保障において、臨時休業が続くならば、夏期休業中の授業日など中長期的な見通しが必要。学校としては大幅な年間計画の変更を考えなければならない。

## 保護者の意見

- ・状況が良くなっているとは思えないので、休校を継続した方がいいと思う。
- ・県内での感染確認が増え続けている中で、5月中の再開は厳しいと考える。
- ・秋以降を見据えて教育環境をどう構築するか、腰を据えて考えるべきかと思う。
- ・各家庭の状況を見るとアナログだが、各家庭にプリント配布という今の対応が良いのではないかと。

# 市立学校の5月7日以降の対応について (小・中学校)

## 【臨時休業期間中の対応 (5月7日～5月31日)】

- ▶ 臨時休業期間中の学びの保障等について、児童生徒が規則正しい生活習慣を身に付け学習を継続することができるよう、様々な手段を提示し、可能な限りの措置を講じる。
- ▶ 臨時休業期間中の対応について、市立小・中学校向けの留意事項を作成し、共通の取組として進める。

### これまでの取組 (小・中学校)

- 学習課題の提示と学習や生活状況の確認
  - ・これまでに習った学習内容中心
  - ・学習プリントの配付 (紙媒体での配付)
  - ・課題を回収し、理解度を確認
  - ・電話連絡等により、心身の健康状態の把握
- 家庭への連絡
  - ・ポスティングを中心とした家庭連絡

### これからの取組 (小・中学校)

- 学習課題の提示
  - ・新しく学習する内容が中心
  - ・学習支援動画配信
  - ・データによる課題配信 (中学校)
- 学習の定着
  - ・学校再開後の授業と評価を見通した学びの提供
- 家庭への連絡
  - ・オンラインを使った家庭連絡「LINC Biz (リンクビズ)」

時間割例	
9:00～ 9:20	HR (オンライン)
9:20～ 9:50	動画による学習
10:00～10:30	動画による学習
10:40～11:10	動画による学習
11:10～11:20	SHR (オンライン)

### ICTを活用した効率的な支援

#### 【現在】

- 学習支援動画コンテンツの作成・YouTubeによる動画配信
- 奈良市ビデオ会議システム「LINC Biz (リンクビズ)」による児童生徒の状況確認



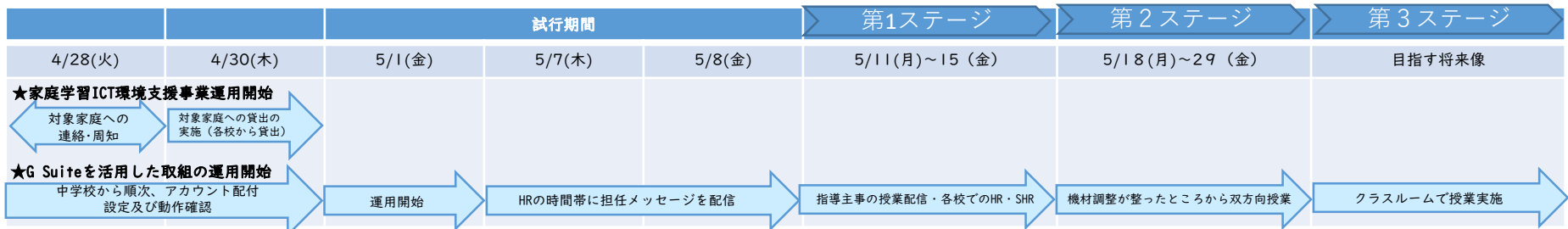
#### 【今後】

- オンラインによる課題配付・回収・学習指導等のコミュニケーションを可能とするインターネットサービス(G Suite)を導入し、5月1日より運用開始

## 【オンラインによる学習支援スケジュール】 (中学校の場合)

※小学校については中学校の整備後、順次実施

- ▶ 保護者アンケートの結果を踏まえ、家庭学習ICT環境支援事業 (学校設置タブレット端末とWi-Fiルータの貸与) を開始  
アンケートにおいて環境が不足している確認ができた家庭 (中学校から順次) を対象とする。
- ▶ G Suiteを活用したオンラインの取組を試行開始  
コミュニケーション (meet)、課題配付・回収等 (Classroom) に利用範囲を順次拡大



# オンラインによる学習支援について

- ◆ 文部科学省「GIGAスクール構想」の実現において、児童生徒への一人1台のタブレット端末の配付及び高速大容量の環境整備について、奈良県教育委員会をはじめ、県内全市町村との協議を推進しています。
- ◆ 一人1台の端末整備完了後のクラウドサービスとして予定していた「G Suite for Education」について、当初予定を約半年程度前倒し、準備が整いました。
- ◆ 長期化している休業期間中における学習支援、児童生徒とのコミュニケーションツールとして活用をしていきます。
- ◆ 具体的には、双方向型コミュニケーション(meet)、課題等の配付・回収(classroom)、アンケート等の実施(form)をはじめ、順次活用を拡大していきます。
- ◆ インターネット環境が確保できない家庭向けに家庭学習ICT環境支援事業（学校設置タブレット端末とWi-Fiルータの貸与）を開始します。
- ◆ オフライン（紙ベース）とオンライン（ICT）との組み合わせによる活動を目指していきます。

